

東京芸術劇場 Presents クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 (オリジナル楽器使用)
日本の管弦楽演奏史のエポックメイキング! オリジナル楽器(作曲された当時の楽器)
オケの名門、クラシカル・プレイヤーズ東京と仲道郁代のコラボレーション第6弾!!

2016 7/1 [金] 19:00開演
(18:00ロビー開演)

東京芸術劇場コンサートホール

有田正広 [指揮]



© Hikaru*

モーツァルト
交響曲第32番 ト長調 K.318
Wolfgang Amadeus Mozart: Sinfonie G-Dur K.318

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第4番 ト長調 op.58
Ludwig van Beethoven: Klavierkonzert Nr.4 G-Dur op.58

モーツァルト
交響曲第40番 ト短調 K.550
Wolfgang Amadeus Mozart: Sinfonie g-Moll K.550

Classical Players Tokyo, concert
Masahiro Arita, Conductor: Ikuyo Nakamichi, Fortepiano.
Classical Players Tokyo, On Period Instruments
19:00, fri.1 Jul.2016, Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall



【使様楽器】
ジョン・ブロードウッド John Broadwood
73鍵 ピッチ430Hz/1816年/ロンドン製/
山本宣夫 改造・仲道郁代 所蔵

S ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,000

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296

<http://www.geigeki.jp/>

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成:公益財団法人朝日新聞文化財団

オリジナル楽器使用



東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

クラシカル・プレイヤーズ



仲道郁代
「フォルテピアノ」

演奏会
東京
東京

有田&CPT、仲道郁代のコラボレーション第6弾。

2015年に取り上げ虚飾を排し、リフレッシュされたベートーヴェン像を再現し、センセーショナルな成功を収めた協奏曲第3番に引き続き、第4番を取り上げる。1楽章冒頭からピアノソロで始まる形式は、この時代にあつて革新的な手法で当時の聴衆は驚きをもって初演を聴いたことが想像できる。その初演時の響きを最新の研究の成果を基に紐解き、楽曲に新たな一条の光を当てる今回の演奏会は見逃せないものである。

また、そのコンチェルトの前にはモーツァルトの交響曲2曲(共にGの調性を有する単一楽章の32番と40番)がプログラミングされ18世紀後半から19世紀初頭、楽都ウィーンでの演奏会を彷彿とさせる。200年前のウィーンの聴衆が聴いたであろうサウンドと演奏語法を実演で聴くことのできるチャンスがいよいよ7月にやってくる!

200年の時を経て追体験する19世紀ウィーンの音の香りを現代の東京で聴くことのできる贅沢を今!



有田正広 | 指揮 | Masahiro Arita, Conductor

古楽器と現代楽器の双方を駆使した広範な活動を繰り広げる、日本が世界に誇る国際的な音楽家の一人。1989年「東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ」を結成し、指揮者としても活動を開始。2006年には、モーツァルトのフルートと管弦楽のための作品を全曲録音するとともに、東京芸術劇場で定期的に演奏会を開催。2009年4月には、ロマン派までをレパートリーとする日本初のオリジナル楽器によるオーケストラ「クラシカル・プレイヤーズ東京」を結成。2010年3月～翌8月にショパンのピアノ協奏曲第1番、第2番(ピアノ:仲道郁代)をオリジナル楽器による日本初演というわが国の演奏史上に記憶される演奏会を開催した(同時に世界初となるブレイエルでの録音を行う)。その姿勢は、新たな音楽的創造を常に探求し、古楽器と現代楽器の枠を超えた新たな音楽的創造の領域へとさらに活動の場を広げている。現在、精力的な演奏活動や研究活動とともに、昭和音楽大学、桐朋学園大学で後進の指導にあたっている。



仲道郁代 | フォルテピアノ | Ikuyo Nakamichi, Fortepiano

国内外での受賞を経て1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。リサイタルも全国各地で開催しており、中でも「ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全曲演奏会」とレコーディングは、作品への真摯な取り組みと音楽性が高く評価され「ベートーヴェン弾き、仲道郁代」という評価を確固たるものとしている。最新CDは「ショパン:ワルツ」(ブレイエル、スタインウェイ使用2枚組)で、「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれ、「2つのピアノで時を越えるショパンのワルツ」と評された。2016年はデビュー30周年を迎え、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団との共演が予定されている。CPTとは2010年にショパンの協奏曲を協演して以来定期的にモーツァルト、ベートーヴェンの協奏曲で協演を続けている。
<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

2016 **7/1** [金] 19:00開演 (18:00ロビー開演)

東京芸術劇場コンサートホール

全席指定(税込) S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000

東京芸術劇場ボックスオフィス
0570-010-296

(休館日を除く10:00-19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/>

チケットぴあ

0570-02-9999 (Pコード:290-682)

<http://pia.jp/t/geigeki/>

イープラス

<http://eplus.jp/>

ローソンチケット

0570-000-407 (オペレーター対応10:00-20:00)

0570-084-003 (音声自動応答Lコード:32158)

<http://l-tike.com/>

東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 (休館日を除く10:00-19:00)

<http://www.t-bunka.jp/>

東京芸術劇場託児施設 だっこルーム

東京芸術劇場でご鑑賞の際は、一時託児をご利用いただけます!

利用日の運営事務所1営業日前正午までにご予約下さい。

利用時間:開演30分前から終演30分後まで

利用料金(1公演あたり):0歳から1歳 2,560円(税込)

2歳以上 2,160円(税込)

電話:03-3981-7003(平日10:00~17:00 ※土・日・祝日休み)



クラシカル・プレイヤーズ東京 (オリジナル楽器使用) Classical Players Tokyo, Original Instruments Orchestra

有田正広音楽監督のもと、日本最初の本格的な古楽器オーケストラ「東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ」は1989年4月に結成され2009年3月公演をもって20年の歴史の幕を閉じた。その後「東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ」のメンバーを中心に2009年6月に「クラシカル・プレイヤーズ東京」と改称。バロック、古典派にロマン派のレパートリーを加え、活動を開始。有田による最新の研究成果を基にオリジナル楽器で演奏される公演活動は歴史的資料に基づいた解釈とその演奏という、日本のクラシック音楽界に新しい一条の光を当て、日本の管弦楽演奏史のエポックメイキングとなっている。

東京
芸術
劇場

〒171-0021 東京都
豊島区西池袋1-8-11
TEL:03-5391-2111
＜アクセス＞ JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅
西口より徒歩2分。池袋駅地下
通路の2b出口で直結しています。

